

土佐のわらべ

第425号《第447回（2017. 4. 13） 子どもの本の読書会記録》参加者6人・文書参加2人

『水妖の森』 廣嶋 玲子／作 橋 賢亀／絵 岩崎書店

水妖の森は、
第4回ジュニア冒険小説大賞を
受賞した冒険ファンタジーです。
良いファンタジーは沢山あります。
本を開いて、別世界を
垣間見ることは、
本当に楽しいことですが、
ファンタジーやSFは、
入口でつまずいてしまうことがあります。
世界観や、特殊な設定、
不思議な生き物、
人物や物の名前、
余りに馴染みが無いものだと、
最初に、その物語に入りこむのに、
苦労することがあります。
入口で、戸惑うことがあっても、
本当に読んで良かったと思うことも
多いですが、
苦手意識が出来ることも。

その点、水妖の森は、
自信を持って、
読みやすい本だと言えると思います。
分厚い本では無いということもありますが、
それが内容が薄いということには、
なっていません。
ファンタジーで、きちんと
別世界に連れて入ってくれます。

美しい森、湖、
そこで生まれた生物も、
踏み込んだ人間も、
皆な一生懸命に生きています。
入口が広く、奥行きが深い、
そして、水の匂う、
凄く鮮やかな世界。
少年タキの冒険、森の未来…
ファンタジーが好きな方も、
少し苦手だという方でも、
面白く、読んでもらえるのではと思います。

(M. O)